

木戸明 没後100年 記念講演会

日時 9月11日(日)午後1時30分

場所 市立中央公民館1階大会議室

講師 木戸秀雄(元高校教員、木戸明曾孫)

演題 「教育者木戸明の生涯」

入場無料



木戸明は儒学者。天保5年(1834)中村生。通称駒次郎、号鶴洲。父広之助、母安岡故五郎の姉。幼少より学問を好み、18歳で京へ。巖垣月洲の門に入り、国学経書を学ぶ。帰国後、樋口真吉、安岡良亮らと倒幕勤王に参加。海防のための大砲を製造。維新後は地元に残り教育活動に専念。大神宮隣に遊焉義塾を開く。幸徳秋水、吉松茂太郎、安岡雄吉・秀夫兄弟ら門弟多数。中村中学、高知中学でも教え、高知時代の教え子に濱口雄幸、野村茂久馬らがいる。

大正5年(1916)9月13日没。82歳。墓は正福寺(秋水墓隣)。

大正8年(1919)中村小学校校庭に銅像立つが、太平洋戦争中資材提供の犠牲になる。

主催 幸徳秋水を顕彰する会

後援 四万十市教育委員会

問い合わせ 顕彰会 田中 0880-36-2778